

国立大学法人兵庫教育大学経営協議会（第3回）議事要旨

日 時 令和2年11月17日（火）13：30～15：10

方 法 Web会議システム

審議に先立ち、学長から、持ち回り審議により開催した第2回の議事要旨（案）の確認が行われ、了承された。

次いで、学長から、配付資料2、3に基づき、大学経営と大学改革に関する学長報告及び新型コロナウイルス感染症への対応について報告が行われた。

議 事

1 審議事項

（1）令和元年度自己点検・評価書の作成について

須田副学長から、配付資料4に基づき、令和元年度自己点検・評価書の作成について説明が行われ、原案のとおり了承された。

（2）令和2年人事院勧告に係る役職員の給与等関連規則改正について

事務局長から、配付資料5-1、-2に基づき、令和2年人事院勧告に係る役職員の給与等関連規則改正について説明が行われ、原案のとおり了承された。

（3）令和2年度第1次補正予算案について

事務局長から、配付資料6-1、-2に基づき、令和2年度第1次補正予算案について説明が行われ、種々意見交換の結果、一部字句修正の上、了承された。

委員による主な意見は次のとおり（○：意見，●：回答）

○オンライン面接入試を実施するにあたり、検定料に変更はあるのか。

●志願者の増減により、検定料収入が増減する可能性はあるが、検定料の変更は行っていない。

○補正予算の財源として予備費を取り崩しているが、他の財源で対応できないか。

●自然災害への対応等のために予備費を設けているが、現段階では被害等が発生していないので使用していないが、今回の補正予算を編成する際の財源不足を調整するため、予備費を取り崩すこととする。

(4) 第3期中期目標中期計画期間教育研究充実積立金執行計画について
事務局長から、配付資料7に基づき、第3期中期目標中期計画期間教育研究充実積立金執行計画について説明が行われ、原案のとおり了承された。

(5) 令和3年度予算編成方針について

事務局長から、配付資料8に基づき、令和3年度予算編成方針について説明が行われ、種々意見交換の結果、文面を一部修正の上、了承された。

なお、文面の修正については学長に一任願うことについて、併せて了承された。

○本学の財政収支の見通しや令和3年度の収入及び支出見通しには「コロナ禍」に関する記載があるが、令和3年度予算編成方針には、「コロナ禍」に関する記載が無いため、明記する必要があるのではないかと。

●令和3年度予算編成方針に、「コロナ禍」に対応した方針を記載する。文面については、学長一任としたい。

○人件費率が高い状態となっているが、収入が下がると更に人件費率が高まることになるため、人員配置を含めて抜本的な見直しが必要なのではないかと。

●教員については、退職後の後任補充の抑制を行っているが、教員配置計画や長期的な人事方針については、フラッグシップ大学の動向や運営費交付金の見通しが不透明なため、現時点では明確に策定することが困難であるが、教育研究活動の状況を見極めながら人件費の削減を行っていききたい。また、事務職員については、多忙な状況であるが、今後の働き方改革を含めて、適正な配置人数を検討していききたい。

○フラッグシップ大学指定等にかかる経費はどの程度見込まれているのか。

●現在は、一部補助金を活用し、原則自己財源で対応しているが、フラッグシップ大学の指定を受ければ、補助金で対応していく予定である。

○事前の経費は不要か。

●基本的には、補助金を充てる予定であるが、必要に応じて、目的積立金や学長裁量経費を活用する予定である。費目としては、人件費を予定しており、AIやデータサイエンスを扱う人材を採用し、教員養成のための研究開発を行う予定である。

(6) 役員の期末特別手当について

事務局長から、国立大学法人兵庫教育大学役員報酬規程第8条第2項の規定等、役員の期末特別手当に関する手続等について説明が行われた。

続いて、学長から、令和2年12月期の常勤の役員（学長及び理事）の期末特別手当の支給額については、標準の支給割合で支給することについて説明が行われ、了承された。

2 報告事項

(1) 令和元年度財務分析について

事務局長から、配付資料9に基づき、令和元年度財務分析について報告が行われた。

(2) 令和3年度大学院学校教育研究科入学者選抜試験の実施状況について

吉水副学長から、配付資料10-1、-2に基づき、令和3年度大学院学校教育研究科入学者選抜試験の実施状況について報告が行われた。